

S.U.N.

2023
August

No. 33

仙台大学
女子硬式野球部



特集① クローズアップ

仙台大学女子硬式野球部

大好きな野球でつながった最高の仲間たち

特集② 養護教諭を目指す方に伝えたいこと

特集③ ニュージーランドでの留学生活 / 「スポーツ動作および機能改善のためのリアルタイムフィードバックシステム」の導入について

| 同窓会情報



仙台大学

私たちの二刀流「野球も学びも全力投球！」

ウラヤマ モエ
浦山 萌衣さん 主将/ファースト
(体育学科2年/山形北高校出身)

全国大会で1勝して
両親を喜ばせたい



●**本学を選んだ理由**/小3から野球をはじめ中
からソフトボール部。高校時代ソフトボールで
東北ミニ国体に出場しました。部活の経験か
ら、コーチングを学ぶために本学に入学。軟式
野球同好会に入る予定でしたが、女子野球部
が創部されるとの情報を得て、挑戦することに
しました。

●**チームの雰囲気**/試合から帰った後や授業の合間に、自主練習を行う
後輩も多く、全員本気で取り組んでいます。プライベートでも話が合う
ので、いい仲間に出会えてよかったと思います。

●**目標**/両親が野球好きで、よく応援に来ます。そんな両親に私のプ
レーする姿を見せたいというのがモチベーションでもあります。まずは
全国大会で1勝をめざします。

本学を目指す方へのメッセージ/野球の魅力は、ポジションが明確で全員同
レベルでなくても、各々の持ち味を活かし活躍できることです。とも
に野球の醍醐味を味わいましょう！

ツナカワ ホノカ
綱川 穂乃歌さん センター
(健康福祉学科4年/栃木県矢板高校出身)

チームメイトは強く、
カッコいい妹たち！



●**本学を選んだ理由**/高校では陸上部(ハンマー
投げ)、大学では保健体育教諭と養護教諭の
免許を取るため学業に専念するつもりでした。
野球は未体験でしたが、女子野球部発足の
ニュースを聞いて挑戦してみたい!との思いが
募り、入澤監督や重巢副部長も背中を押して
くださったこともあり、入部しました。

●**チームの雰囲気**/高校で活躍してきたレベルの高い選手をお手本に、
少しでも近づけるよう頑張っています。みんな元気で賑やか。学年関
係なく仲が良いので、たくさんの妹ができたような感じ。いい雰囲気
で練習できています。

●**目標**/試合では必ず1安打。声を出して鼓舞するなどチームの盛り上
げ役としても貢献したい。

本学を目指す方へのメッセージ/本学ではスポーツを切り口に自分の学び
たいことをみつけられます。部活も学びの両方を究められる環境があ
ります。女子野球部は本当に楽しいです。ぜひ体感してください。

キミヨウ サクラコ
木明 桜子さん 戦略スタッフ
(スポーツ情報マスメディア学科2年/
クローズ記念国際高校 仙台キャンパス出身)

情報分析でチームを
バックアップ



●**本学を選んだ理由**/高校まで野球部に所属し
て、選手としてはやり切ったので、大学では「ス
ポーツ情報マスメディア学科」を選び、男子野
球部戦略スタッフとして活動しようと考えてい
たところ、女子野球部が設立されると知り、面
白そうと思い参加することにしました。

●**現在の状況**/戦略スタッフとして、試合中ビデオを撮ったり、スコアをつ
けたりするほか、解析ソフトを使って、試合内容を分析しています。監
督にアドバイスを受けながらですが、チームの強化にもつながり、私自
身の勉強にもなるので、やりがいを感じます。

●**目標**/全国大会で1勝。情報分析の立場からメンバーをしっかりサ
ポートしていきたい。

本学を目指す方へのメッセージ/選手だけではなく、サポートする立場でも
実践的な学びができる大学です。現場での活動ができることが大学
学科の強みです。

イワクラ アスミ
岩倉 明日美さん ピッチャー・センター
(子ども運動教育学科1年/
クローズ記念国際高校 仙台キャンパス出身)

野球と学びを通して
成長できる環境



●**本学を選んだ理由**/友達に誘われて野球を始め、
小学校6年間と高校3年間野球部で全国
大会にも出場しました。保育士の免許取得と
野球ができる専門学校を探したところ、高校
の先生から「仙台大学なら保育士の免許が取
れて、女子野球部もできる」と聞いたのがき
っかけです。

●**現在の状況**/大学の部活は「放任」のイメージでしたが、当部は、任せ
てくれるところもあり、提案やアドバイスなど状況に応じてしっかり指
導してくれます。入澤監督は選手に寄り添ってくれる指導者です。

●**目標**/ピッチャーとしては変化球で打撃を抑え、センターとしては走者
を進めないよう守りたい。チームとしては東北一、その後、全国で勝ち
進んで頂点を目指したい。

本学を目指す方へのメッセージ/本学には、特徴ある6学科があり、様々な
資格を取得できます。楽しい雰囲気のもと学びと野球を通して成長で
きる環境があります。

ゴトウ ミヅミ
後藤 美海さん セカンド
(子ども運動教育学科1年/新潟県開志学園高校出身)

与えられた環境の中で
ベストを尽くす



●**本学を選んだ理由**/5歳上の兄の影響で始め、
ずっと野球部に所属、全国高等学校女子硬
式野球選手権大会で準優勝しました。高3の
時、リーグ戦を観に来ていた入澤監督から仙
台大学女子野球部のことを聞いて、保育の勉
強ができ、野球のレベルアップができる環境と
思い、入学しました。

●**心掛けていること**/3番を任されたら塁に出ているランナーを必ず帰す!
とか、自分の役割を意識して打席に立つようになっています。与えられ
た環境の中でどれだけ強くなれるかは、自分たち次第です。常に強くな
ることだけを考えると、レベルアップしていきたいと思えます。

●**目標**/日本一になること。

本学を目指す方へのメッセージ/全員が熱量を持って野球に取り組んでい
ます。一緒に日本一をめざしましょう！

ススキノドカ
鈴木 和花さん レフト
(子ども運動教育学科1年/山形県檜山高校出身)

あきらめなければ
夢は必ず叶う



●**本学を選んだ理由**/小中学校でソフトボール。高
校に野球部が新設することになり、メンバーが足
りず、助っ人として野球を始めました。それがき
っかけで、部活の監督から仙台大学女子野球部
の情報を教えてもらいました。「子ども運動教育
学科」にも興味があったので、入学を決めました。

●**やりがい**/自分に足りないもの、どんな練習を
したらよいか自分を分析しながら、できないことができるようになった
時にやりがいを感じます。本気で叶えたい夢があれば、あきらめない
限りは必ず叶うと信じています。

●**目標**/他の皆と比べて野球のキャリアが短いので、今は皆に追いつ
こうと頑張っているところです。試合に出るからには、何かしら結果を残
したいので、もっと練習してレギュラーになりたいですね。

本学を目指す方へのメッセージ/チームは楽しく、居心地のよい、安心でき
る場所です。皆野球が大好き!ぜひ体験に来てください!



仙台大学女子硬式野球部 大好きな野球でつながった 最高の仲間たち

今春創部した仙台大学女子硬式野球部。1期生となった部員は15人。出身校も野球歴も学ぶ学科も将来像もそれぞれ違っても、「野球が大好き!」という熱い思いでつながった最高の仲間たち。本格始動した部員たちの思いを紹介する。

楽しくて、強いチームが目標

「大学では学業に専念すると決めていました」と語る主将の浦山萌衣さん(体育学科2年)。小3から野球を続けてきた浦山主将は、コーチングを学ぶために本学への進学を決めた。入学後、女子野球部が発足すると知り、悩んだ結果、「やらなければ後悔する」と入部を決意した。1年生の岩倉明日美さん、後藤美海さん、鈴木和花さんの3人は「子ども運動教育学科」。保育士の免許取得と大好きな野球を両立できる環境が本学を選ぶ決め手となった。そうしたさまざまなバックボーンを持つ野球女子15人が入部。「野球が大好き!」という共通点があるため、すぐに打ち解けたという。

浦山主将は「厳しく指導するチームもありますが、私の理想は楽しくて強いチーム。入澤裕樹監督の指導のもとでそれが実現できると信じています。入澤監督は現役時代に投手として活躍し、本学硬式野球部でコーチを15年務めた経験豊富な指導者。創部にあたり、部員集めにも奔走した。「私たちが信頼し任せてくれ、細かい部分まで親身に指導してくれる頼れる指導者」と全員が絶大な信頼を寄せる。入澤監督は「勝負に拘りながらも、野球の面白さを伝えることのできる組織形成や魅力ある人材育成に努めたい」と語る。

「現在地」を知った初の全国大会

5月、女子硬式野球部は、高知県で開催された「第9回全日本大学女子硬式野球選手権大会」に出場した。全国から13チームが出場、1回戦は桃山学院教育大学(大阪)と対戦した。結果は11対1で、残念ながら初戦敗退。浦山主将は、「初めて大学のチームと対戦する緊張感もあり、力の差を思い知らされました」と語る。情報分析を担当する木明桜子さん(スポーツ情報マスメディア学科2年)は、「他のチームを観て、私たちももっと声も元氣も出して、盛り上げていかなければと感じまし



円陣でナインに指示を出す入澤監督(右から2人目)

た」。戻ってから「このままではいけない」とミーティングを重ね、今後の明確な目標も決めた。危機感を持ったことで、チームに一体感が生まれたという。

1期生の私たちが歴史を創る!

東北の大学初の女子硬式野球部として注目されることに、プレッシャーもあるのではそれに対して「1期生は、誰でもなれるものでなく、むしろチャンス。各々違う環境で野球をしてきたので、それをまとめて独自のスタイルを創り上げるのは貴重な機会」と浦山主将。「手本のない難しさ、自分たち流にできる楽しさもあります。私たちがチームカラーを決めてしまつから責任重大です」と後藤さん。「皆、本当に野球が好き。それが私たちの強み、1期生が今のメンバーでよかった!と心から思います」と鈴木さん。プレッシャーよりも、大好きなメンバーとともに新たな歴史を創っていくことを楽しんでいる。目下の目標は、東北のリーグ戦で優勝、そして8月開催の全国大学選手権大会でまずは初戦突破。皆さん、熱い応援を宜しくお願いします!



◀仙台大学女子硬式野球部Twitter



仙台大学・みやぎ県南中核病院との連携協定による初の編入生
千葉 萌絵さん
(健康福祉学科4年ー
宮城県白石高校専攻科看護科出身)

私が「養護教諭実習」を通して得たもの

母校での養護教諭実習を終えて、千葉さんが養護教諭を目指す原点は、保健室の先生と友達の間にあるという。「仲の良い友達が悩みを抱えていて、保健室の先生に悩みを相談していました。その時、その友だちの力になれない無力さを感じました。そして、いつかその友だちのように困っている人がいたら、あ

母校での養護教諭実習を終えて
母校での養護教諭実習を終えて、千葉さんが養護教諭を目指す原点は、保健室の先生と

地域連携協定による初の編入生
千葉萌絵さんは、一般学生とは異なるプロセスを経て、本学の学生となりました。「看護科で5年間学び、看護師の免許を取りました。当初看護師志望でしたが、本学の健康福祉学科で、学校の保健について学びたいと考えたため、養護教諭の免許取得にチャレンジしようと思いました。また、大学で多くの人と関わってみたいと思い、編入学しました」と語る。折しも、「仙台大学・みやぎ県南中核病院との連携協定による初の編入生」第1号にもなり、大学生として新たなスタートを切った。

夢を実現できる環境がある本学
高校と大学との違いについて「自分で科目を選べるのが新鮮でした。たくさん教養科目から「まず踊りとお囃子」を選択したので、あまりに楽しくて「青葉まつり」の踊りにも参加したほどです」。さらに、今年2

の時の保健室の先生のように力になれる人になりたいと思ったことがきっかけです」。

今年5月には、母校の宮城県塩竈市立第二中学校で3週間の養護教諭実習を行った。「1週目は養護教諭に関する概要などのレクチャー。2週目は授業見学や保健室で健康相談やカウンセリング、ケガの処置の仕方の見学など。3週目は1日保健室経営。先生に補助していただきながら、一人で保健室の運営を行いました。学校には規則があり、たくさん先生方がいる中での実習に難しさも感じましたが、実務を体験する中でやりがいも感じました」。

一人の生徒との出会いもあった。「皆と距離を置いていた生徒が気になって声を掛けると、色々と心の内を打ち明けてくれたのです」。時折話すようになり、最終日にその生徒から手渡された手紙に「先生みたいな素敵な大人になりたい」と書かれていたという。「養護教諭に担当のクラスはありませんが、たった一人にでも自分の思いが伝わったのだと思うと嬉しかったです」。実習を経て、養護教諭になりました。気持ちはいよいよ強くなりました。



憧れの留学を実現した千葉さんとホストファミリー。1カ月間で英会話も上達し、人としても成長できたという。

月には、本学の海外研修プログラムに参加し、1カ月間ニュージージーランド語学研修も行った。「2人の男の子がいるホストファミリーのもとから語学学校に通い、休日には色々な場所に案内してもらいました」。おかげで英会話も飛躍的に上達したというが、「一番は、一人で積極的に行動できるようになったこと」と自分自身の変化に驚いている。さらに、「仙台大学で得た一人で積極的に行動する力や人としての視野が広がったことは、就職先である病院で看護師として勤務し患者さんと接する際に、必ず役に立つと思います」。目標とする養護教諭実習、ニュージージーランド語学研修と、充実の学生生活を楽しむ千葉さんは、後輩へのメッセージとして「大学は自分の可能性を広げてくれました。私はここで学ぶことができてよかったです。本学には夢や目標を実現できる環境が整っています。後悔しないようにやりたいことがあったらやってみよう」と笑顔で語ってくれた。

養護教諭を目指す方に伝えたいこと

養護教諭への道

「健康福祉学科」で取得可能
The road of Yogo teacher

教授 重巢 吉美 Jusu Yoshimi

プロフィール／福島県公立学校教員(養護教諭、教頭、校長、指導主事)を38年間経験し、2021年より現職。養護教諭1種免許、看護師の免許を有し、健康福祉学科で養護概説、養護教育実習等を担当する。



養護教諭とはいわゆる「保健室の先生」。小・中・高校に常駐し、ケガや体調不良の際の救急処置や健康診断、健康相談、そして健康教育など、学校全体の健康に関わる業務に携わります。児童生徒が不登校、いじめ、心身の健康課題を抱えるいま、改めて養護教諭が果たす役割が注目されています。そこで、重巢吉美教授に養護教諭の現状について聞きました。

Q 養護教諭の役割が注目されていますが？

ケガや病気の救急処置に加え、近年はメンタルヘルスの関わりも非常に多くなっているからではないでしょうか。というのも、学校では、現代の教育的課題、いじめ、児童虐待、性暴力など事件、事故に発展しそうな事案も増えています。それに対して、養護教諭は、保健室に来室する児童生徒と向き合う中で変化に気付いたり、未然に防ぐことにつながり得るからです。また、事件や事故が起きた場合は、当事者はもちろん、周りの児童生徒のPTSDに対するケアなど、カウンセラーや行政機関などと連携を取りながら対応にあたるなど、その役割はより重要性を増しています。特に、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、市町村の保健福祉担当部署、保健所、病院などをつなぐコーディネーター的な力を発揮する場面が増えていきます。

Q 養護教諭になるためには？

本学の健康福祉学科で所定の単位を取得し、4年生で3週間の養護教諭実習を行えば、卒業時に申請することで養護教諭一種免許状が得られます。公立学校の場合は、希望する各自自治体の教員採用試験を受けることになります。私立校の場合は、学校独自の採用試験を受けます。

Q 養護教諭にとって大切な視点は？

養護教諭は、特定のクラスを受け持つことはないの、学校全体のバランスをみて、学校の課題や必要ものを感じるができます。ですから、教えるというよりは、児童生徒の心に寄り添い、抱えている問題は何かを増やさないようにしたいです。

かと一緒に考えることが大切だと思います。心のモヤモヤを整理し道筋をつけるだけでも元気がなり、前に進むとする児童生徒もいます。心に傷を抱えている児童生徒を少しでも元気づけたり、手助けしたりすることで、成長を感じられた時、解決に向けて前進できた時、養護教諭としてのやりがいを感じる事ができると思います。

Q 学生たちへの指導方針は？

自分が養護教諭になり現場に立った時に、主体的に考え、行動できるよう指導しています。そのために、授業の中で周りの人と意見交換する機会を設けたり、自己洞察を行ったり、相談する側の気持ちを察知できるように演習を行っています。これらは日常の関係性の中で、無意識に行っていることへの気付きにもなります。それらを意識化していくことで、養護のプロになるために役立てることが出来ます。

Q 養護教諭を目指す方へのメッセージ

本学の学生は、スポーツ外傷やスポーツを継続する大変さを知っていることなどの側面から、児童生徒に寄り添えるのが大きな強みだと思います。また、スポーツに打ち込んだ経験が生きて、重要な局面で「踏ん張りがきく」ため、最後は目標を実現できているように思います。「最初から100%できる人はいないのだから、学びながら覚えていけばいいんだよ」と学生たちを励ましています。ぜひ多くの方に養護教諭の免許取得にチャレンジしてもらいたいですね。



鮮烈デビュー、最速152キロの右腕
目標は「成長し続けること！」

「野球を始めたのは小3年の時。1歳上の兄が野球をしていたので自然に始めた感じです」。小学校の部活に入り、両親が熱心にサポートする野球ファミリーで育つ。メキメキ頭

「もっと野球がうまくなりたい！」

6月、仙台大学硬式野球部は8年ぶりに全日本野球選手権大会に出場し、準々決勝で明治大学(東京六大学)に惜敗したが、9年ぶり2回目のベスト8入りを果たした。今大会でひと際輝きを放ったのが投手の佐藤幻瑛さん。1年生ながら1回戦で先発し、5回1/3を3安打無失点と好投。自己最速を3キロ更新する152キロという堂々たる投球で一躍注目の的となっている。硬式野球部の部員は240人余り、全国から高校球児が集まるだけに、今回の大抜擢は異例とも言える。ここでは、そんな彼の素顔を紹介する。

角を現し、中学、高校と投手として活躍。「野球がもつとうまくなりたい」という一心でした。その気持ちが強ければ自分に自分勝手な時もあったとか。「高校になると自分だけ努力しても勝てない。自分が努力しつつ、皆のため」という気持ちが大事と考え方を切り替えました。自分が頑張るほどチームの勝ちに貢献できるようになり、その頃からプロを目指すと決めたという。

先輩方の姿勢と直感で決めた入部

高校の野球部は、県大会2回戦出場が最高成績と強豪校ではなかったが、彼の投手としての評判は広まっていたらしく、大会には時折プロ野球のスカウトの姿もあった。しかし、「プロ入りするにはまだ早すぎる。大学野球をしてからでも遅くはない」と判断し、大学進学の道を模索していた時、高校の野球部の監督か



全日本大学野球選手権大会1回戦 vs 桐蔭横浜大学戦で力投する佐藤さん=東京・神宮球場



ら勧められたのが、仙台大学硬式野球部の体験会だった。「先輩が優しく、チームの雰囲気がかっこよかった」。投手だけでも80人余りと選手層が厚い。その練習風景を見て、「ここなら自分が成長できる」との直感を得たという。同時に、体育学科で学ぶことで、身体の使い方やケアの仕方などの専門知識が身に付き、アスリートとして将来的にも役立つの思いもあり、仙台大学への入学を決意する。

目標は「成長し続けること」

現在、硬式野球部員が多く住む食事付きのアパートに住む。「最初はホームシックになりましたが、友達もできて、今は楽しくやっています」。全日本大学野球選手権でスーパールーキーとして注目されたことについて「3、4年で注目される予定でしたが、予想外に早まってしまいました(笑)。自分はまたスタートラインに立ったばかりなので、やれることを精一杯やるだけです」と笑顔を見せる。「幻瑛」という名前の由来について聞くと、「宝石のように輝いてほしい」と思い名付けたと聞いています。両親の思いがいつか詰まった名前を、この先多くの場面で耳にする日が来るかもしれない。本学で成長し続け、やがて広い世界に羽ばたいていく、その日を今から心待ちにしたい。

profile/青森県柏木農業高校出身。趣味/休日は音楽を聴いてゆっくり過ごす。お気に入り
はback number。好きな食べ物/ラーメン、寿司。好きな言葉/泰然自若。今後の目標は
身体をつくり、成長し続けること。
身長180センチ、体重78キロ、右投げ右打ち。

Highlighting 夢中人



WUG日本代表・U23日本代表に選出
世界の舞台でローイングを究めたい

転機となったローイングとの出会い

上館真央さんがローイングを始めたのは高校から。近くに長野県最大の湖、諏訪湖があり、周辺の高校には漕艇部が多く、大会が盛んに行われている。「担任の先生が漕艇部の監督で、入部を勧められました。中学では吹奏楽部でしたが、違うことに挑戦して自分を変えたいと思い、入部しました」と語る。当初はハードな練習メニューについていけず、泣いたこともあったとか。しかし、次第に心身ともに強くなり、ローイングの楽しさを感じるようになる。「高校では成績を残せず、悔いが残りました。お世話になった監督にもっと成長した姿を見てもらいために、大学でも続けようと思えました」。その際、監督から「やるなら仙台大学の阿部監督のほうがいいと言われました」。

上館さんには、もう一つの夢があり、それが実現できる環境が本学にあった。「小2から警察官になりたいと思っていて、仙台大学の現代武道学科には、警察官志望の学生に向けた支援体制があり、これだと思えました」。警察官を目指しながら、ローイングも上達できると思いい、入学を決めたという。女子エイトで日本一、日本代表にも選出

女子漕艇部の活躍はめざましく、4月に行われた「第101回全日本ローイング選手権」で女子エイトが初優勝を成し遂げた。スタートから飛び出し、二度もトップを譲ることなく、完勝だった。上館さんもそのメンバーの1人。3年で副主将、4年で主



第101回全日本ローイング選手権において女子エイトが悲願の初優勝(後列中央が上館さん)



宮城県柴田町の白石川でトレーニングに励む上館さん

将として先頭に立つてきた。近年の強さの要因を聞くと、「コロナ禍で練習できず、精神的にも厳しい時期があったが、その間も阿部監督から世界の情勢などさまざまな情報が提供され、「ローイングはこんなにも楽しい」という気持ちで活動できたことが大きかったです」。その言葉通り、上館さんは、3月の日本代表を決めるレース、スモールボートセレクトション(SBS)でCファイナル着の快挙を成し遂げ、見事U23日本代表に選ばれた。4月にはFISUワールドユニバーシティゲームズ(WUG)日本代表にも選出された。自身の強みについて質問すると「全国で名だたる選手たちがいる中で自分の弱さを実感しながらも喰い付いて、やり続けるという粘り強さでしょうか」と笑顔で応える。今は日本代表の合宿や遠征、海外での大会と充実した日々を過ごす上館さんは、漕艇部の後輩たちが背中を追う存在になっている。持ち前の明るさと粘り強さで、世界の舞台でも最高のパフォーマンスをみせてくれるに違いない。

profile/長野県下諏訪向陽高校出身。阿部監督のもとで、日本一を目指す仲間とともにローイングを究めるために本学に入学。全日本優勝、インカレ2位、国体3位などの戦績をおさめる。WUG日本代表・U23日本代表。趣味/音楽を聴くこと。好きな食べ物/味噌汁。好きな言葉/為せば成る、為さねば成らぬ何事も。成らぬは人の為さぬなりけり(上杉鷹山)。



仙台大学漕艇部ユーチューブ

報告

令和5年度 新同窓会会長・代表理事 第12期生 石上幸弘さん就任挨拶



会員の皆さまにおかれましては、平素より本会の運営と事業推進にご尽力をいただき、誠にありがとうございます。私共は、令和5年度一般社団法人仙台大学同窓会社員総会において、前会長の後を継ぎ、代表理事(会長)に就任いたしました。石上幸弘でございます。

さて、一般社団法人仙台大学同窓会は、法人化に移行後、間もなく10年目を迎えます。1974年の同窓会発足から通算いたしますと50年余りの歴史と伝統を持つております。この間、歴代の会長、役員の方々、並びに会員の皆さまに支えられて発展し、現在では登録会員数約1万7千名を擁しております。今体制においては、これまで構築された事業を継続するとともに、少しずつ同窓会活動を発展させることができたらと考えております。会員の皆さまの相互の親睦・交流の場をつくることも、母校の発展に寄与する役割を果たすことができるよう、役員一同が尽力してまいります。

船岡の地で令和5年度「社員総会」開催 令和5年度 すべての議案承認可決

本年度の「社員総会」は、令和5年5月13日(土)午後3時より、船岡駅前ホテル原田を会場に開催され、すべての議案が承認可決されました。

- 社員総会の議事については左記の通りとなります。
第1号議案「令和4年度事業報告」
○同窓会生活支援奨学金事業開始
○大学同窓会理事會連絡会・保護者会・学友会同窓会理事會

「学生社会貢献助成」新規事業スタート 郡山市シティー馬拉ソンをボランティアで大会支援する仙台大学のアスレティック トレーナー部への活動助成

令和5年4月29日(土)午前8時30分より、スタートを郡山総合運動場とし、第30回郡山市シティー馬拉ソンが開催されました。仙台大学と郡山市は提携を結んでおり、郡山市からの要請を受け、仙台大学のアスレティックトレーナー部が大会会場へアスレティックトレーナーズブースを開設し、同ブースではアスレティックトレーナー部が、参加者へスタート前とゴール後にストレッチを行いました。

仙台大学同窓会は、今年度より「学生社会貢献助成」事業を始め、大学が進める市町村との提携事業の後押しとして、ボランティア等で積極的に活動する学生の交通費等々の助成を行い、持続可能な活動支援の充実を図ることを目的に事業展開しております。今後、地道に本事業の活動を推進することにより、仙台大学及び学生の社会貢献について多くの方に認知してもらうこと、学生の社会へ羽ばたく出口活動の後押しにも繋がるよう、丁寧に支援対応して参りたいと思っております。



今だからこそ、全国とつながる！

「SOCIAL NETWORK & MENTOR」リレー・メッセージ 第二集「時の響き」完成

仙台大学同窓会は、令和5年3月27日(月)、学長室において、江尻雅彦同窓会理事から高橋仁学長へ第二集「時の響き」を寄贈しました。本事業にご賛同いただき、メッセージをお寄せいただきました同窓生の皆様方に厚く感謝申し上げます。

同窓会では、2020年12月より本事業を始めて参りました。仙台大学同窓生が思いを一つにして取り組んできたこの企画について、同窓会の貴重な記録となる冊子作成を継続し

会連絡会に続き、大学同窓会学生募集支援連絡会の開催
○令和5年度東北北海道支部長会議初開催等
第2号議案「令和4年度収支決算報告並びに監査報告」
第3号議案「令和5年度年間事業計画(案)」
○社員総会定例理事会年10回

- 大学同窓会理事會連絡会(令和2年度から開催)
○保護者会・学友会同窓会合同連絡会(令和3年度から開催)
○大学同窓会学生募集支援連絡会(令和4年度から開催)
第4号議案「令和5年度収支予算(案)」
第5号議案「令和5年度同窓会役員人事(案)」

○今年度の役員人事は、同窓会事業に「尽力いただきました第2期生小島淑子前会長、第20期生津田宗彦監事が一身上の都合により辞任されました。
○第1回理事會が開催され、新会長・代表理事に第12期生の石上幸弘理事が就任いたしました。
○令和5年度は理事8名、監事1名体制となり、併せて、顧問アドバイザーに佐藤司法書士事務所佐藤健二司法書士に就任頂き、コンプライアンス及び組織強化を図って参ります。
※次頁、役員名簿参照



高橋学長と全国から集まった仙台大学同窓会役員ら

て参りました。

第一集「きらめき」

(執筆番号第一号から第百号まで)

第二集「時の響き」

(執筆番号第一号から第二百号まで)

この冊子が全国の同窓生・現役学生にとって希望の光アップリとなることを切望しております。

なお、仙台大学朴澤泰治理事長、高橋仁学長から、第二集発行を祝し、メッセージを頂戴しておりますので、仙台大学同窓会のホームページでご紹介しています。



仙台大学同窓会の日本酒

スペイン酒類国際コンクール「CINVE2022」金賞受賞
国際日本酒コンクール「Oriental Sake Awards 2022」銀賞受賞/香港

この日本酒は、本学の学生と蔵人により醸しだされた純米大吟醸です。学生は伝統文化である日本酒造りを通して、宮城県の風土に根差した独自技術を体感しながら、「自然・伝統・人間形成」の調和を学びました。情熱をもって取り組んだ本物志向の品質をお届けいたします。

味わいは酵母由来の香りを控えめにし、作り手の考えを感じ取れるように仕上げた究極の食中酒です。是非、みなさんの古き良き時代を過ごした仙台大学を感じながら、また語らいながら、味わっていただきたいと思っております。

Product information for the sake, including ingredients (宮城県産ひとめぼれ100%), alcohol content (16%), and price (1,800ml for 2,959 yen).

以下の販売店様にご注文下さい。
丸正酒店 Tel 0224-62-2002 Fax 0224-62-0625
(宮城県角田市角田字町177)

オリジナルグッズ

オリジナルグッズの一時販売中止のお知らせ!

現在、同窓会ではオリジナルグッズのリニューアルを検討しています。現行のグッズをすべて見直し、皆様方により有効に活用いただけるグッズとしてのお披露目を目指しています。販売準備が整いましたら、同窓会HP等で配信致しますので、乞うご期待ください。

同窓会関係についての問合せは下記事務局へ

〈問合せ・連絡先〉 仙台大学同窓会事務局(仙台大学内)
〒989-1693 柴田郡柴田町船岡南2丁目2-18
TEL・FAX(直通) 0224-55-1449
事務局長 佐藤一拓(12期生) E-mail kz-sato@sendai-u.ac.jp
氏名・住所変更 E-mail suaa-kanri@sendai-u.ac.jp

仙台大学同窓会 検索

コラム

「アスリートを支える」 運動栄養学科1期生として

第37期生 後藤健二さん

私が仙台大学入学を決めたきっかけは、体育系大学であることに加えて、栄養学も学べる運動栄養学科(現...スポーツ栄養学科)が新設され、1期生として入学出来ることも大きかったです。今こそ「スポーツ栄養」という言葉が普及しているように感じますが、当時は他大学にはない画期的な特徴であったと記憶しております。

入学後は硬式野球部に所属し、学業と部活動の両立を4年間、卒業後はシダックス(株)に就職しつつ仙台大学大学院に進学し、学業と仕事の両立を2年間、実際に両立出来ていたか今でも振り返ることもありますが、周囲に支えて頂きながら何とかやり切れたと感じております。

大学院修了後はそのままシダックス(株)に勤めております。直近の大きなイベントとしては、東京2020大会の競技会場飲食提供業務を受託し、会場の統括責任者として大会に参画する機会を頂きました。運営内容も国内大会とは異なることばかりで困難の連続でしたが、大きな事故もなく大会を終えることができ、大変貴重な経験となりました。卒業後もスポーツに関わり続けていられるのは、仙台大学「体育系大学であること、仙台大学での「体育スポーツ」と「栄養」の両方の学びがあったことが大いに影響していると感じています。

Column photo showing a person at a sports event with text about the author's experience at the Tokyo 2020 Olympics.

令和5年度一般社団法人仙台大学同窓会役員名簿 R5.5.13現在

Table of board members including names, positions (e.g., 会長, 副会長), and graduation years in parentheses.

仙台大学川平キャンパス誕生

—教育環境のさらなる充実と発展・充実推進に向けて

本学の設置法人である朴沢学園が進めてきた川平地区再整備事業の第二期工事が令和4年10月26日完了し、仙台大学川平キャンパスが誕生しました。既に、完成している第一期工事では、仙台大学附属明成高校の新校舎と法人本部、本学川平キャンパスの一部が、第二期工事では、本学と仙台大学附属明成高校の共用体育館や連絡橋、本学の研究棟である「川平KMCH」が建設されました。



これにより、半世紀前の計画に示されていた、仙台大学川平キャンパスの活用、そして、仙台大学附属明成高校の新校舎による教育が実現しました。川平キャンパスの完成により、教育環境の進化に加え、本学と仙台大学附属明成高校が提供する豊かな教育内容を共創することが可能になりました。教育内容の充実と発展を目指すだけでなく、体育館や連絡橋は、本学と仙台大学附属明成高校が共有することにより、スポーツや身体活動を通じた交流の促進も可能となります。また、川平KMCHは、高大接続教育の実践においても重要な役割を果たし、学生たちはここで新たな知識を獲得するだけでなく、理論を学びながら実践を通じて深めることができ、問題解決能力を育成するだけでなく、批判的思考や創造的思考の獲得も期待できます。

また、カメイ株式会社等のご支援をいただき、本学川平キャンパスの教育資源を地域にも還元する取り組みとして、「公開講座」を実施しています。本学の特色を生かした教育に触れ、体育・スポーツ・健康について理解を深めることができる内容となっております。

公開講座についての詳細はコチラから⇒



苦労と成長を経てプロ契約を遂に果たした西村あかりさん

(仙台大学新助手-令和2年3月体育学科卒-令和4年3月大学院修了) クリケット界の新たな希望

本学職員である西村あかりさんが、遂にプロ契約を果たしました。日本でクリケットというスポーツがまだ普及していない中、西村さん自身の努力でその道を切り拓いてきました。「Fair Break Invitational2023」への出場がきっかけとなり、西村さんは世界的なクリケットリーグであるFair Break Globalからプロ契約のオファーを受けました。

プロ契約が決まったことは、長年の苦労や挫折を乗り越えた証となり、自身の能力が認められ、夢が叶った瞬間でもありました。プロ契約を手にした西村さんは、喜びと同時にさらなる責任感、そして成長への意欲を抱いていました。

現在、西村さんは、クリケット選手としてのさらなる高みを目指して努力を続けています。西村さん自身の経験を通じて、次世代のクリケット選手たちに希望を与える存在となっています。今後の活躍によって、日本のクリケット界がますます発展し、世界の舞台上で活躍する日本人選手が増えることを期待しています。



東アジアカップvs香港戦でバッティングする西村さん

■お問い合わせ内容と主な関連部署

入試(学内見学)関係	入試課	0224-55-1017
求人、就職指導関係	就職課	0224-55-1017
学生生活関係	学生生活課	0224-55-3019
奨学金関係	奨学金事務課	0224-55-1038
成績、各種証明書発行関係	教育企画課	0224-55-1086
資格取得の支援関係	資格支援課	0224-55-1307
大学院(入試含む)関係	大学院事務課	0224-55-5706
同窓会関係	同窓会事務局	0224-55-1449

学校法人朴沢学園 仙台大学(代表)

〒989-1693 宮城県柴田郡柴田町船岡南2丁目2-18

TEL 0224-55-1121/FAX 0224-57-2769

受付時間:平日 8:30~17:15(受付時間外は留守番電話に切り替わります)

卒業生・保護者の皆さま

今後も、仙台大学のトピックスや在学生・卒業生の活躍を皆様にお伝えすべくより良い紙面づくりのため、皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。アンケートにご協力をお願いいたします。

アンケートはこちら



卒業生の住所変更はこちら



※在学生の住所変更は学生生活課にお問い合わせください。

仙台大学HP



Instagram



Twitter



Facebook



仙台大学は2020年3月11日付で「公益財団法人日本高等教育評価機構」が定める大学評価基準に適合している」と認定されました。